



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 『医療分野における株式会社参入論』

## ◆ プロローグ

5

[らいおんはーと～小泉総理のメッセージ]

## ● 規制改革を進めています

10

小泉純一郎です。

今週は、規制改革についてお話したいと思います。…これからも、株式会社の形態でも病院や農業の分野で仕事ができるようにすることなど、規制改革をどんどん進めて行きたいと思います。…私も皆さんから元気ももらって、改革に取り組んでいきたいと思います  
(「小泉内閣メールマガジン第110号」平成15年(2003年)9月8日)。

15

水沼友美子は、そのメールマガジンの記事を見て、疑問に思った。

『株式会社の形態の病院ってどういう意味??今の病院ってどういう形態なの?』

20

というのも、友美子は今日の午前中、スーパーで買い物をした帰りに不注意にも転んでしまい、近所の整形外科に行ったばかりだったからだ。転んだ場所は家からも近かったが、そのときにひねった右足が見る見るうちに腫れてきたので、そのすぐ近くにあった整形外科のクリニックに飛び込んだのだった。

友美子は突然転んで一人で病院に行くという事態に、ちょっとブルーな気持ちになっていた。

25

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 山口ひろみ (2004年作成)